

## 第13回中東情勢/実務セミナー実施報告書

1. 事業業名：「中東情勢/実務セミナー」

2. 場 所：如水会館 松風の間

3. 実施日：平成29年9月13日（水）14：00～17：00

4. 演題・講師：

「最近の中東情勢」木原晋一氏（経済産業省 中東アフリカ課長）

「なぜカタールは孤立したのか？：危機をめぐる湾岸情勢の分析」

堀抜功二氏（一般財団法人日本エネルギー経済研究所 中東研究センター 研究員）

5. プログラム：①開会挨拶

②講演・質疑応答（各60分）

③名刺交換会（45分）

6. 講演骨子：

今年度初回の中東情勢/実務セミナーは、木原晋一氏（経済産業省中東アフリカ課長）ならびに堀抜功二氏（一般財団法人日本エネルギー経済研究所・中東研究センター研究員）にご講演いただいた。

はじめに木原氏より、現在の中東地域情勢についての主な動きと、どう中東地域と日本が協力していくかについてご講演いただいた。

中東地域の重要性は主に3つ、中東の地政学的な安定は世界の安定のために不可欠であること、重要な資源供給源であること、そして高い新興国としての潜在性を持つ市場であることが挙げられる。米国のシェールオイル生産は2020年頃にはピークに達し、その後2040年までの長期見通によると中東は世界有数のエネルギー供給源としての位置付けは上がっていく見込みである。シェール革命がもたらした石油市場の構造変化は原油価格に大きく影響し、経済と財政の石油・ガス依存度が高い中東諸国は経済多角化に向けた取組を国家政策として打ち出している。中東は日本の経済力や技術力に対する期待があり、日本も重層的な関係の構築のため、双方の関心事項である産業の多角化を通じた改革への協力関係を中心的課題としている。

中東地域は企業活動と国家間の関係が表裏一体であり、日本も官民一体となった支援、成長戦略のシナジーを目指して各国との政策対話を行っている。サウジアラビアでは「日・サウジ・ビジョン2030」として具体的なプロジェクトを立ち上げ実施している。イランの場合、核合意にかかる制裁が米国は一部残っているものの停止・終了した。経済はマイナスからプラスへと成長、インフレも一時は40%から一ケタまで下がり、安定をみせている。中国、韓国、欧州は積極的なトップ外交を行い投資促進に努めている。日本においては2016年にファイナンス・ファシリティに関する協力覚書に署名。また、自動車分野やインフラ・プラント事業などの分野で拡大が期待されている。UAEは日本が石油権益を保有している数少ない国の一つであり、2018年3月に切れる権益の延長の獲得を目指しトップ外交を続

けている。一方、UAEは日本に対してエネルギー分野に加え、投資、人材育成、医療等、これまでの協力関係をより強固に拡充していくことへの期待が大きい。

続いて、掘抜氏よりカタール危機とカタールの孤立化に至る背景、そして今後の見通しについて分析と考察を交えて報告した。テロ支援非難がきっかけとされる2017年6月5日のカタール断交は、決して突然発生したわけではなく伏線があり、2013年11月のリヤド合意まで遡る。周辺国の内政干渉をしないとのGCC合意が履行されていないという理由で、一時は大使召還問題まで発生したが、翌年11月にリヤド補完協定が関係国の間で結ばれ解決したとの認識がある。今回其れにも拘らず、合意と相反するタミーム首長の発言が国営通信のサイバー攻撃被害によって報道され断交へと至った。その後、カタールにとって対応不可能な13項目の難題を突きつけるサウジアラビア、UAE、バハレーン、エジプト（通称「カルテット」）に対し、カタールはロビー活動などを通し国際世論を取り込む試みを行うなど毅然とした姿勢をみせている。断交による経済的影響が表面化しているが、エネルギー輸出（ヘリウムを除く）には概ね影響がない。米国やクウェートが仲介に動いているがまだ具体的な成果は出ていない。カタール危機解決のシナリオとしてカタール反体制派から体制転覆の可能性の分析文書が発出されているが、掘抜氏によると、首長交代シナリオの可能性は低く、カタール危機の方向性を見通すのは難しいが、12月に開催されるGCC首脳会議を目途に何らかの動きがみられるかもしれないとの見解を示した。

#### <成 果>

講演後に実施したアンケートの結果、参加者の皆様より高い評価を頂いた。

講演について、「ニュースではわかりづらい情報を解説頂き大変参考になった」「現地で起きている問題や問題に至る経緯、背景などがよくわかった」「中東の現状を包括的に理解する良い機会であった」などの感想が寄せられた。

今後のセミナーのテーマ設定については、引き続き最新の中東情勢について、米国の中東政策、米欧によるイランでの動きなどが挙げられた。今後のテーマ設定の参考としたい。

